

大手損保グループの格付見直し結果

JCR は、国内の大手損害保険グループ（東京海上グループ、SOMPO グループ、MS&AD グループ）の格付を見直しました。今回の見直しにおける格付の視点は以下の通りです。個社の格付事由については、本日付のニュースリリース（26-D-0469、26-D-0470、26-D-0471）を参照ください。

■格付の視点

- (1) JCR は、大手損保グループの保険持株会社と中核会社の格付を見直し、いずれのグループについても長期発行体格付を据え置き、見通しを「安定的」とした。国内損保事業の収益性改善に加え、好調な海外事業や政策保有株式の売却益を含む資産運用収益の拡大が利益水準を押し上げており、前期に続き高水準の利益を確保している。自然災害の激甚化・頻発化やインフレ進行など事業環境の変化は続いているものの、料率設定や引受リスクのコントロールに加え、成長投資を通じた収益基盤の拡充が今後の利益成長につながるとみている。
- (2) 各グループの国内損保事業における事業基盤は極めて堅固である。一方で、事業基盤の拡充、成長機会の確保、リスク分散などを目的として、海外事業および保険周辺領域への事業展開を積極的に進めている。戦略的投資に対するアペタイトは総じて強く、成長余地が大きく市場規模も大きい北米スペシャルティ保険分野を中心に、大型 M&A や資本提携が実行されている。海外事業の構成割合は高まっているが、利益水準が高く中長期的な成長余地の大きい事業へのシフトとリスク分散が進むことで、信用力の安定性の向上に資する可能性があるとみている。もっとも、買収後の統合プロセス、ガバナンスおよびリスク管理態勢の整備状況、シナジー創出の状況などが格付上の重要なポイントとなる。JCR では、引き続き成長投資の動向や投資後の統合プロセスの進捗状況を注視していく。
- (3) 各グループの収益力は総じて高い。国内損保事業では、火災保険において、料率改定や引受条件の厳格化などを継続的に実施してきた成果が表れている。もっとも、事業特性として自然災害の影響は免れ得ず、大規模自然災害に対する財務面での耐久力は引き続き重要である。自動車保険では修理費単価の上昇などが収支の押し下げ要因となっているものの、継続的な料率改定によって収支の改善が期待できる。また、一連の不適正事案を背景として、代理店との関係の見直しが進められている。二重構造の解消や新たな手数料体系の導入は、代理店手数料の適正化につながるとみており、これらの取り組みが収益力のさらなる向上につながるか注目していく。
- (4) 各グループの資本充実度は高い。ESR は、一定のストレス環境下においても十分な健全性を維持できる水準にある。規律ある資本政策の下、政策保有株式の売却、再保険の活用、生保事業にかかる金利リスクの削減などを通じてリスクの抑制が図られている。ERM 態勢の成熟度は高く、リスクアペタイトに基づいた経営が浸透している。海外事業や新規事業の拡大に伴い、グループが抱えるリスクが多様化・複雑化する中、グローバルかつグループ一体的な ERM の重要性は一段と高まっている。JCR は、各グループが事業ポートフォリオの変化に応じて資本政策やリスク管理態勢の高度化に取り組んでいる点を評価している。

（担当）宮尾 知浩・阿知波 聖人

【参考】

発行体：東京海上ホールディングス株式会社

長期発行体格付：AAA 見通し：安定的

発行体：東京海上日動火災保険株式会社

長期発行体格付：AAA 見通し：安定的

発行体：SOMPO ホールディングス株式会社

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

発行体：損害保険ジャパン株式会社

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

発行体：MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

発行体：三井住友海上火災保険株式会社

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

発行体：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル